NIHON MECCS

建物とともに生きる
50年のあゆみ

50th 感謝と、これからの挑戦！
日本メックス株式会社

ごあいさつ

当社は1972（昭和47）年4月に創立して、今年50周年という記念すべき節目の年を迎えることができました。これもひとえにお客様の多大なるご支援の賜物であり、この場を借りて心より感謝申し上げます。

当社は、NTTの前身である日本電信電話公社が、全国の津々浦々に建設した電話局をはじめ、事務所、社宅、病院、通信施設など多くの建物や設備の維持管理、保全を担うために「株式会社日本総合メインテナンス」として設立されました。創立20周年の1992（平成4）年には「日本メックス株式会社」と社名を一新し、民営化されたNTTグループや高度情報化社会の進展に合わせ、堅調な発展、成長を遂げ今日に至っています。

御多分に漏れず当社も、バブル崩壊、NTT再編、東日本大震災、そして新型コロナウイルス感染症等々、経営環境に重大な影響を及ぼす事象を数多経験してまいりました。その中で、私たちは試練に立ち向かう勇気を培い、進化する技術を習得してきました。折しも2020（令和2）年に株式会社NTTファシリティーズの100％子会社となったことで、そのビジネスフィールドは大きく拡大しました。そして今、社会は5G（第5世代移動通信システム）やDX（デジタルトランスフォーメーション）への対応を求めています。

この50周年は「第2の創業期」と位置づけ、次代を担う人財の育成を柱に、未知なる領域にもチャレンジしていきたいと、「ビジョン60」を策定し、2022（令和4）年4月「建物空間の未来をKYOSOするプロ集団」をスローガンとしてスタートしました。

最後になりましたが、「日本メックス株式会社」はこれからも「建物とともに生きる」を合言葉に、持続可能な社会、より良い未来の実現に向けて貢献していきたいと考えております。

変わらぬご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

2022（令和4）年4月吉日

日本メックス株式会社
代表取締役社長 臼井 賢

50年のあゆみ

50th 感謝と、これからの挑戦！
日本メックス株式会社

①創業期：第1期～第5期［1972(昭和47)～1976(昭和51)年度］
日本の通信事業を支える、我が国初の会社誕生

会社について
- 1972年 4月・株式会社日本総合メインテナンス（現 日本メックス株式会社）設立
- 6月・株式会社日比谷メインテナンスと合併
- 1976年 6月・株式会社ニッソウ設立

第2岡名ビルに本社を構える

主な出来事
- 1972年 7月・「武蔵野電気通信研究所（現 NTT武蔵野研究開発センタ）簡易工事」受注（簡易工事第1号）
- 年度末・建設業許可認可（建築一式工事・大工・電気・管・消防設備ほか）
- 1975年 2月・「日本団体生命仙台ビル 常駐保守」受注（民間常駐保守第1号）

②拡張期：第6期～第13期［1977(昭和52)～1984(昭和59)年度］
創立10周年に向け、事業を順調なる軌道に導く

会社について
- 1978年12月・株式会社オネスト（現 株式会社メックスサポート）設立
- 1979年 5月・株式会社札総設立
- 1982年 4月・**創立10周年**

主な出来事
- 1978年 3月・「品川電話局防災工事」完成（防災整備工事第1号）
- 10月・10月16日東京中央電報局（当時）の足場倒壊事故発生

③躍進期：第14期～第20期［1985(昭和60)～1991(平成3)年度］
NTT民営化を追い風に、売上も、社員も拡大

会社について
- 1988年10月・株式会社エムイーケー（現 株式会社メックステクノ西日本）設立
- 1991年 9月・株式会社エムイー関東（現 株式会社メックステクノ中央）設立

主な出来事
- 1987年 2月・ポータブル排ハロンファン発売
- 1989年 7月・「μSATシステム」販売開始
- 1990年12月・「BELCAテクノフェア'90 」に「μSATシステム」出展

ビルネットワーク管理センタ「μSAT」火入れ

④充実期：第21期～第27期［1992(平成4)～1998(平成10)年度］
創立20周年を機に、日本メックスに社名変更

会社について
- 1992年 4月・**創立20周年**
  ・日本総合メインテナンスから「日本メックス株式会社」へ社名変更
- 10月・株式会社メックス西日本（現 株式会社メックステクノ東海）設立
- 1993年 5月・メックスサービス株式会社設立
- 1995年 4月・株式会社アール・ディー・メックス（現 株式会社メックステクノ中央）設立
- 1996年 2月・株式会社ゼネラルボーサイ子会社化
- 1998年 4月・株式会社エムイー山口（現 株式会社メックステクノ中国）設立
- 9月・株式会社エムイー福岡（現 株式会社メックステクノ九州）設立

主な出来事
- 1995年10月・本社ビル取得：現在の入船ビル（東京都中央区入船3丁目）へ移転
- 1996年 6月・「μSATシステム」を100ヵ所のメックスセンタに設置
- 1997年 3月・「防災設備管理図CAD化計画」を完了

本社「日本メックスビル」に移転

⑤変革期-Ⅰ：第28期～第30期［1999(平成11)～2001(平成13)年度］
NTT再編に合わせ、組織改正を実施

会社について

主な出来事
- 2000年 4月・「ISO9001」認証取得（ビルネットワーク管理サービス事業部）
- 12月・「ISO9001」認証取得（首都圏事業本部）
- 2001年11月・「ISO推進室」設置

⑥変革期-Ⅱ：第31期～第33期［2002(平成14)～2004(平成16)年度］
「一歩先行くエキスパートナー」を目指す

会社について
- 2002年 4月・**創立30周年**

主な出来事
- 2003年 9月・MEGRES（屋上緑化建築技術）が（財）日本建築センターの新建築技術認定（第1号）
- 2004年 1月・「ISO9001」「ISO14001」認証拡大（全国主要組織）
- 10月・「人権啓発・企業倫理推進室」設置

MEGRES
（屋上緑化建築技術）

⑦革新期-Ⅰ：第34期～第40期［2005(平成17)～2011(平成23)年度］
10年後のビジョンを夢見て、新たなるステージへ

会社について
- 2006年 3月・経営理念の制定
- 2010年 3月・NTTファシリティーズが株主になる
- 2011年12月・「ビジョン50」策定

主な出来事
- 2005年 8月・「CS向上委員会」発足
- 2006年 4月・中央区区民館4館の指定管理業務受託
- 2008年 8月・マンホール補強構造特許登録

⑧革新期-Ⅱ：第41期～第50期［2012(平成24)～2021(令和3)年度］

「ビジョン50」の実現に向けて
日本一の「建物維持管理・保全工事会社」を目指す

会社について

- 2012年 4月・**創立40周年**
- 2015年 7月・株式会社メックステクノ東北設立
- 10月・CSR基本方針、行動規範及び活動計画等策定
- 2018年 1月・「新たな企業理念体系」制定
- 2020年 1月・**NTTファシリティーズの100%子会社化**
- 2021年 4月・「新・CSR戦略」策定
- 2022年 1月・創立60周年に向けた「ビジョン60」策定

主な出来事

- 2014年 1月・建物維持管理サービス「SUPER iMEC」導入
- 4月・「ソーラーPT」発足
- 7月・「古河太陽光発電」構築(第1号)
- 2015年 7月・「CSR委員会」設置
- ・「企業倫理委員会」設置
- 12月・オペレーショントレーニングセンタ(OTC)開設
- 2016年 7月・ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)「ISO/IEC27001」認証取得
- ・「コンプライアンスの日(毎月15日)」制定
- 10月・オペレーショントレーニングセンタ(OTC)リニューアル
- 2017年 4月・「指定管理者事業推進PT準備室」設置
- 10月・「CSR推進室」設置
- ・「日本メックス安全の日(毎年10月16日)」制定
- ・「名水はだの富士見の湯」オープン
- 2018年 4月・「道の駅いちかわ」オープン
- 5月・STC(セーフティトレーニングセンタ)開設
- 7月・「PPP事業推進PT」設置
- 2019年10月・「健康優良企業 銀」認定
- 2020年 4月・「DX推進委員会」設置
- ・「メックステクニカルカレッジ」本格開講
- 12月・「高機能ビル構築・維持管理推進室」設置
- 2021年 4月・「UB事業推進PT」設置
- ・「ダイバーシティ推進室」設置
- 11月・LGBTQに関する取り組み指標「PRIDE指標」の「ゴールド」受賞

SUPER iMEC
Computerized Maintenance Management System
SUPER iMEC 導入

オペレーショントレーニングセンタ(OTC)

名水はだの富士見の湯

道の駅いちかわ

セーフティトレーニングセンタ(STC)開設

健康優良企業 銀

work with Pride
Gold 2021
PRIDE指標のゴールド

Next 10：第51期［2022(令和4)年度～］

――2022年4月創立50周年――

ビジョン60

「建物空間の未来をKYOSOするプロ集団」

「安全と品質」は、当社の誇り

NTTグループが生業とする通信は貴重な社会インフラであり、その重要性は高まる一方です。NTTグループの通信施設を維持管理する当社には、当然ながら高度な安全性が求められています。それゆえ当社の「安全と品質」の管理は厳格に行われており、その情報は幹部はじめ全社で共有しています。

また「日本メックス安全の日」の制定や体感型研修施設「オペレーショントレーニングセンタ（OTC）」「セーフティトレーニングセンタ（STC）」など様々な取り組みによって、当社の「安全と品質」は守られています。複雑化・高度化する工事現場においても、事故件数は年々減少の傾向にあります。

2022（令和4）年度の事業計画には「安全作法」という言葉を採用しました。作法という振る舞いを守って作業を進める、作法は積み重なって文化となります。当社は、安全を企業文化と位置づけ、「安全と品質」を誇りにこれからも歩み続けてまいります。

日本メックス安全の日

1978（昭和53）年10月16日、当社にとって会社存亡に関わる重大な事故が起こりました。この事故を風化させず後世に継承するとともに、安全意識を再認識するために、重大な事故を起こした10月16日を「日本メックス安全の日」と制定し、毎年同日に安全祈願を行う等、全社で安全意識の醸成を行っています。

「メックス安全の日」の安全祈願

「メックス安全の日」の式典

オペレーショントレーニング センタ（OTC）

オペレーショントレーニング センタ（OTC）

建物総合管理で取り扱う建物設備（電気、監視、防災、空調、衛生）、通信用電力設備（受電、電源、通信用空調）の要となるシステムの実機を揃えて、計画的な教育プログラムを展開する施設です。

セーフティ トレーニング センタ（STC）

視て、触れて、感じることで「安全」を学び、考えることをコンセプトとして、疑似体験コーナーを含め、工事現場における「安全」についての心構えや基礎知識を身につけるための施設です。保全工事・維持管理に関わる社員のみならず、営業・総務等の事務系を含めた全社員が研修を受講することで、全社一丸となり安全への理解を深めるとともに、安全行動・安全活動につなげています。

セーフティ トレーニング センタ（STC）

ぶらさがり体験

VRによる仮想体験

建物とともに生きる

建物維持管理　大手町フィナンシャルシティノースタワー

建物や設備の監視・点検業務を通して、利用者様に快適な環境と安心をお届けしています。「大手町フィナンシャルシティ ノースタワー」は東京のビジネスの中心地・大手町で、日経ビル・JAビル・経団連会館解体後跡地約14,100㎡において進められた再開発により誕生した事務所、店舗等で構成する複合施設です。

当社は建物や設備の監視・点検業務を通して、利用者様に快適な環境と安心をお届けしています。また、災害時には、敷地空地部およびアトリウム空間にて帰宅困難者の受入れや周辺エリアの要救護者の初期救護を可能な範囲で行う等、地域の災害対策拠点の一部としての役割も担っています。

大手町フィナンシャルシティノースタワー

建物保全工事　平等院ミュージアム鳳翔館:保守・修繕・改修工事

京都府宇治市、世界遺産「平等院」の寺院内にある鳳翔館は、宗教法人として日本初となる総合博物館（登録博物館）で、世界中から多くの人が訪れ、地域の賑わいに貢献しています。

貴重な文化財を次代へ受け継ぐためには温度と湿度を最適に保つ必要があり、当社はICT技術を活用して空調・加湿設備の制御を行いながら、地域の文化・経済拠点のサステナビリティにも貢献しています。

「鳳凰堂」と呼ばれる阿弥陀堂

建物LCコンサル　NTT 大通4丁目ビル：建物耐震補強工事

北海道の通信を支えるNTT大通り4丁目ビルは、建設から60年以上を経過し、耐震補強工事を行いました。社会を支える重要な通信インフラ機能の維持と利用者や地域への配慮から、縦ラインを強調した外付けの耐震工法を採用。外壁面への7,000本以上のアンカー打設や通行量の多い地区での工事を安全にきめ細かく配慮して、延べ6年間の工事を無事故で完了しました。

同ビルの取り組みは、一般財団法人日本建築防災協会より平成30年度耐震改修優秀建築賞を受賞しました。

NTT大通り4丁目ビル

PPP事業　道の駅いちかわ

各地のスポーツ施設や区民館等公共施設の管理業務を通して、地位の皆様に愛される施設運営をお手伝いしています。当社が運営を手掛ける「道の駅いちかわ」は「全国初の都市型道の駅」としてオープンし、ショップ、レストラン、カフェ等、多様なアイテムで地域の賑わいに貢献しています。

道の駅いちかわ

道の駅 いちかわ

←当社の実績はこちらのサイトからご覧いただけます
https://www.meccs.co.jp/performance/#works-area

CSRテーマ ❶ 人と社会のコミュニケーション

品質・革新の挑戦

●先進技術を活用し、顧客や社会の満足の高い社会インフラの実現に貢献します

取り組みの柱

・高品質な建物ソリューションの提供
・DX化の積極提案の推進
・CSの継続的な改善

優先的に貢献を目指すSDGs

CSRテーマ ❷ 人と地球のコミュニケーション

環境経営の徹底

●自社の環境負荷軽減に取り組みます　●製品、サービスの環境性能を追求します

取り組みの柱

・環境マネジメントシステム（EMS）の徹底
・低・脱炭素化への取り組み
・低排出、循環型事業の実現

優先的に貢献を目指すSDGs

CSRテーマ ❸ 安心・安全なコミュニケーション

安心・安全の見守り

●社会インフラの24時間365日管理を通じ、社会のレジリエンスの担い手として貢献します

取り組みの柱

・インフラの24時間365日管理
（サービス提供体制）
・自社のBCP、情報セキュリティの徹底
・作業安全対策（メックス安全作法）の実践

優先的に貢献を目指すSDGs

CSRテーマ ❹ チームNTTのコミュニケーション

人財との共栄

●社員、パートナー従業員の人権と多様性を尊重し、活かします

取り組みの柱

・ダイバーシティ＆インクルージョン
・ディーセントワークと労働安全衛生
・公正な処遇とキャリア開発

優先的に貢献を目指すSDGs

Vision 60

Compass for a new voyage

スローガン 建物空間の未来を KYOSOするプロ集団

「ビジョン60」実現に向けて、社員一人ひとりが一人称で考え、行動していきます。

「ビジョン60」を策定した目的は、10年後の日本メックスグループのあるべき姿、到達イメージを描き、展開・定着を図ることで、事業をさらに発展させるためです。

スローガンは、「**建物空間の未来をKYOSOするプロ集団**」。

これは、当社が長年培ってきた情報通信施設の保全技術に加え、業務に真摯に取り組む「まじめさ」によって、産業・生活基盤の永続的な「安心」を実現すること。また創立60周年に向けて、現場に寄り添った「気づき」を基に提案することによって、あらゆる建物利用者と社会の「感動」を実現するという事業創造の原点に立ち返ること。そして新築工事の視点も取り入れた建物総合サービスのプロフェッショナルとして、建物空間の未来に向けた「KYOSO」を実現し、建物の世界に独自の「輝き」を生み出すこと、という趣旨です。

この「KYOSO」という言葉は、「共想」「協創」「競争」の3つの意味（下枠内）を持っています。

「建物空間」という言葉にも大切な意味があります。「建物空間」とは、土地の定着物としての建物だけでなく、建物における様々な利用形態や周辺環境、地域を含んだ概念として捉えています。建物利用者の視点で建物を捉え、あらゆる方向への広がりをもってビジネスを展開していくという意味も込めました。建物をハードとしてだけでなく、我々が大切にする利用環境、ソフトもトータルでメンテナンスしていくことで、快適で、利用者に「笑顔」が生まれることを目指しており、新しい言葉として浸透させていきたいと思っています。

「ビジョン60」は今後当社が進むべき方向を示す羅針盤です。全社一丸となって取り組むことで、持続的に発展させてまいります。

■「KYOSO」の3つの意味

共　想	顧客・社会（サスティナビリティ）の目線で、建物空間の現状と未来を仲間と共に想い、現場ならではの「気づき」を提案する
協　創	社内外での「つながり」を自ら生み出し、「ひらめき」をつなぎ合わせ、時代に先んじた新たな価値を協働して創り出す
競　争	顧客企業を取り巻く成熟した事業環境を認識し、一歩先を行くQCDS+E（品質・コスト・納期・安全+環境）を追求し続ける

会社情報

50th 感謝と、これからの挑戦！
日本メックス株式会社

■売上高

61,844百万円

■経常利益

4,663百万円

■従業員数

1,538人

■全国サービス拠点数　全国の各エリアが連携し、多様な建物をカバー

NTT建物：7,300カ所

オフィスビル：1,000カ所

集合住宅：2,000カ所

その他：60カ所（病院、ホテル、空港、公共施設）

■グループ会社

株式会社 札総	〒060-0004	北海道札幌市中央区北4条西16丁目1 テルウェル札幌第1ビル 6階	TEL.011-676-7800
株式会社 ニッソウ	〒300-2633	茨城県つくば市遠東916-4	TEL.029-848-0002
株式会社 ゼネラルボーサイ	〒104-0042	東京都中央区入船3-6-3 日本メックスビル 6階	TEL.03-5542-0481
株式会社 メックスサポート	〒104-0045	東京都中央区築地1-9-2 イセツネビル 3階	TEL.03-6264-3972
メックスサービス株式会社	〒104-0042	東京都中央区入船3-6-3 日本メックスビル 4階	TEL.03-5541-5731
株式会社 メックステクノ中央	〒104-0042	東京都中央区入船3-6-3 日本メックスビル 5階	TEL.03-5244-9900
株式会社 メックステクノ東北	〒983-0852	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-3-10 仙台TBビル 4階	TEL.022-290-6841
株式会社 メックステクノ東海	〒460-0008	愛知県名古屋市中区栄3-8-8 名古屋平和ビル 3階	TEL.052-269-1525
株式会社 メックステクノ西日本	〒541-0041	大阪府大阪市中央区北浜1-8-16 大阪証券取引所ビル 7階	TEL.06-4707-2010
株式会社 メックステクノ中国	〒730-0004	広島県広島市中区東白島町14-15 NTTクレド白島ビル 8階	TEL.082-212-2212
株式会社 メックステクノ九州	〒812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多偕成ビル 8階	TEL.092-432-3211

※2022年6月時点の数値